

包 括 的 公 表

平成 26 年 10 月～12 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

| 発生場所 | 概 略 | 再発防止策 |
|------|--------------------------------------|--|
| 外来 | 同じ疾患に用いる類似した別の薬剤を指示し投与したが、健康被害はなかった。 | 薬剤名の後に（FSH）を入れ、識別ができるようにする。 |
| 入院 | 異なる母親の母乳を授乳させたが、健康被害はなかった。 | <ul style="list-style-type: none">・搾母乳は、母親自身が授乳させることを原則とする。・職員が搾母乳を授乳させる場合は 2 人でチェックする。 |
| 入院 | セフェム系薬剤禁忌の患者にスルペラゾンを投与した。健康被害はなかった。 | 電子カルテ上で禁忌薬の表示方法を工夫する。 |
| 入院 | 手術検体のホルマリン固定が遅れ病理診断が出来なかった。 | 検体は速やかに、ホルマリン固定を行う。 |